



# 国家卫生计生委疾病预防控制局

(全国爱国卫生运动委员会办公室)

## 2018年07度全国法定伝染病情報

国家卫生计生委 www.nhfpc.gov.cn 2018-08-13

2018年7月(2018年07月01日00:00~07月31日24:00)内の、全国(台湾香港マカオは含まず、以下同)の法定伝染病例は866,072例(宮本注:前月は890,852例;24,780人減)、死亡者数は1,833例(前月は1,744例;89人増)であった。

うち、

A(甲)類伝染病では、コレラで6名の発症報告(死亡はゼロ)、ペストは発症・死亡ともにゼロ、であった。

B(乙)類伝染病はSARS、ポリオ、ジフテリア、H7N9型鳥インフルエンザ及びヒト感染高病原性鳥インフルエンザで発症・死亡なし以外、残21種については、発症321,266例(前月は309,880例:11,386人増に転)、死亡1,828例(前月は1,731例:97人増)が報告されている。報告されている発病データの病種ワースト5は、ウイルス性肝炎、肺結核、梅毒、淋病と赤痢(前月と同種・同順)で、B類伝染病報告総数の93%を占めていた。

同期、C(丙)類伝染病では、フィラリア症では発症・死亡ともにゼロだったが、その他10種の伝染病では、発症数は544,800例(前月は580,971例で36,171人減)、死亡は5例(前月は13例で8人減)であった。

発症データの3位までの病種は、手足口病、その他感染性下痢とおたふくかぜ(二か月連続で前月と同じ病種、同じ順位)であり、C(丙)類伝染病報告総数の96%を占めていた。

### (H7N9鳥インフルエンザ患者と死亡者について)

1. 国家衛生計生委発表の2017年度月報上では、12か月間累計発症者数は、646人(死者数は269人)となりましたが、年度報告では発症589人、死亡259人と、それぞれに57人、10人の発症者・死亡者が消し去られていました。(こういう場合、WHOへの通報はどうするのでしょうか。恥ずかしいけどこんなに間違いがありましたと訂正を依頼できるのでしょうか。)
2. 不思議なことに、2017年10月以後は、散発的に患者が出ていたが、第6の波と呼べるものがまだ表れていません。2月以後発症ゼロ、3月に一名死亡以後ゼロ行進。7月も発症・死亡ともに『ゼロ』でした。
3. 2017年10月は発症死亡者ともにゼロ、11月は1人(死亡1人)、12月もゼロ、2018年に入ってからは、この1月月報上の1名(新疆で発見、香港が発表)。そして、2月は1人発症1人死亡と発表。2月11日に中山市での患者発生が報じられている)しているのですが3月の死亡者1人というのがこの患者の死亡を表しているとするれば、1~5月までの累計で2名が発症、2名が死亡のままです。
4. 中国政府の活動の一つに、動物のサンプル調査で陽性反応が出た場合に、活禽市場を暫時閉鎖するというものがあるようで、これが『活禽への直接暴露機会』を減らしているのかもしれませんが。また、浙江省杭州市では、すでに市内での活禽交易市场は永久閉鎖されていますが、本当にこれだけで、第五波の数百人が第六波を起こすことなくほぼゼロになるのか、、、少し「楽観し過ぎ」かもしれません。
5. 現時点で未陥落の省は、青海省、寧夏回族自治区と黒竜江省の3省のみですが、黒竜江省では鳥間の集団発生が見られていますので、次の冬~春季に患者が出てくるという考え方を排除できません。
6. 浙江省、江蘇省、湖南、湖北省、北京市に続き、安徽省も患者のタイムリーな発表を意図的に隠し続けている様ですが、四川省アバ自治州若爾蓋などは刻々と変わる発生の状況をタイムリーに伝えており、これにより『デマ』に惑わされないようにとの工夫をしています。8月になって湖南省CDCは単発患者1名を発表していますので、隠蔽体質の省から外せるかもしれません。もう少し様子見が必要。
7. 1月からのFluTrackersとの情報交換共同作業をする中で、1625号患者(06月15日発表)まで追いかけることができました(7月に中側からFAOに発表された12人と、12月19日にFAOが発表した累計患者数“1621人”との差20人、それに2月28日のFAO“発表1625”人との差についてはいまだに詳細を確認することができずにいます)。WHOへの報告主体である衛計委とFAOへの報告主体農業部の間でも同国内なのに整合性もなく、また、2017年年報を発表した衛計委自体も患者数を突然57人減じている(死者数も10人減!)事実がありますが、衛計委がWHOに「この患者とこの患者は誤報でした」という通知もしていない??? FluTrackersによると、『必ずしもすべての数字がWHOに報告されていない恐れがある』とされています。実際、

FluTrackers は、NHFPC や省・市の HFPC や HFPB、それに香港 CHP の正式発表をもとに重複排除しており、中国政府当局の作為的な操作があるのかは別にして、乖離があります。中国当局から FAO への通報、これに基づく FAO の発表についても上で述べたように『謎』の部分が出てきています。これらの患者がどうなったのかは、衛生計生委が毎年行っている B 型肝炎患者数や梅毒患者数の操作と同じように『いなかったこと』にされるのかもしれませんが。患者が少なかつたことから情報提供も僅か、それでも弊所から FluTrackers への情報提供数は 420 本になりました(as of Jul. 31)。

8. 2014 年 1 月に浙江省 HFPC が発表した『確診患者は日日発表、死亡患者は翌月の月報にて発表。これが乙類伝染病としての管理だ』という内容の記事を弊研究所サイトにアップしています。『2014-01-27 浙江省の H7N9 鳥フル患者死亡者数発表に関して <https://wp.me/p66EIr-2IP>』をご参照ください。
9. また、家禽の養殖場(採卵用の養鶏場)での集団発生が、増えています。2017 年 3 月には湖南省永州市、5 月には河北邢台市、河南平頂山市、天津市で発生。6 月に入ってからには陝西省榆林市、内モンゴルフフホト市、内モンゴボグト(包頭)市、黒竜江省双鴨山市、8 月には安徽省滁州市鳥間、と 9 件が発生。
10. 2018 年に入り、3 月 5 日には陝西省銅川市王益区で発生、4 月 5 日には山西省臨汾市、18 日には寧夏回族自治区同心県での発生、5 月 9 日には寧夏回族自治区固原市でのアウトブレイクが農業農村部から発表されましたが、6 月 1 日には、遼寧省瀋陽市で発生(H7N9 に関する PPT に追記しています)。これで去年は 9 件、今年は 5 件、合計 14 件目の集団発生となります。一人もヒト感染者が見つかっていない寧夏回族自治区における鳥間の集団発生が 2 件続けて出ていることが気がかりです。
11. 鳥間での病原性が低病原性から高病原性に変化しているようです(上海復旦大学の研究成果が『ランセット』感染症』に発表されたようですが)、今後の動向に注目必要ですね。
12. 但し、『2018-04-03 対家禽 H7N9 インフル強制ワクチンの接種実施 河南省』で書かれているように、H7N9 ワクチンを活禽に強制接種されれば、(鳥肉を食用した人体への影響の有無は別にして)鳥類間でのアウトブレイク件数が減るのかもしれませんが。これもまた要ウォッチ事項だねと FluTrackers と話をしています。

(⇒See [20180717 中国衛生部発表の全国法定伝染病発症死亡統計](#))

<http://www.nhfpc.gov.cn/jkj/s7923/201808/182fef3b7aac45fd89deadb64e3ac762.shtml>

..... 以下は中国語原文 .....

## 2018 年 07 月全国法定伝染病疫情概况

国家衛生計生委 [www.nhfpc.gov.cn](http://www.nhfpc.gov.cn) 2018-08-13

2018 年 7 月 (2018 年 7 月 1 日 0 时至 7 月 31 日 24 时), 全国(不含港澳台,下同)共报告法定伝染病 866072 例, 死亡 1833 人。其中, 甲类伝染病中霍乱报告发病 6 例, 无死亡报告, 鼠疫无发病、死亡报告。乙类伝染病中传染性非典型肺炎、脊髓灰质炎、白喉、人感染 H7N9 禽流感和人感染高致病性禽流感无发病、死亡报告, 其余 21 种乙类伝染病共报告发病 321266 例, 死亡 1828 人。报告发病数居前 5 位的病种依次为病毒性肝炎、肺结核、梅毒、痢疾以及淋病, 占乙类伝染病报告病例总数的 93%。

同期, 丙类伝染病中丝虫病无发病、死亡报告, 其余 10 种丙类伝染病共报告发病 544800 例, 死亡 5 人。报告发病数居前 3 位的病种依次为手足口病、其他感染性腹泻病和流行性腮腺炎, 占丙类伝染病报告病例总数的 96%。

附件: 2018 年 07 月全国法定报告伝染病发病、死亡统计表